

二十四節気、11月7日は「立冬」。暦の上では冬を迎えます。紅葉が美しく色づく季節ですが、それが過ぎればあっという間に年末を迎えます。観光業界は秋冬の繁忙期を迎えておりますが、くれぐれも体調を崩さぬようお気をつけ下さい。今年も残す所あとわずか、頑張りましょう！



株式会社KBS創研 営業支援部 竹腰 幸司

<特集>

NPO 法人ふるさと応援隊による人材育成事業
「ふるさと応援塾・高松観光プランコンテスト」
ホームページにて投票受付中！



本紙でも既に何度かご紹介している、KBSの関連NPO法人ふるさと応援隊の人材育成事業「ふるさと応援塾」。若手人材育成を目的に、昨年11月より京阪神の大学生を対象に、おおよそ2カ月に1回のペースで勉強会を行って参りました。そして現在、1年間の学習の集大成として、実際に旅行プランを企画し、インターネットや旅行会社からの評価を競う「観光プランコンテスト」を開催しております！

旅の企画の舞台となったのは、ふるさと応援隊とも縁が深い「香川県高松市」。

春より学生達は3つのグループに分かれて、高松の観光資源の調査を行い、夏には現地へのフィールドワーク合宿に訪れ、観光プランの企画を行いました。

現在、ホームページで企画した観光プランを公開し、インターネットによる人気投票を受け付けております。また、同時にふるさと応援隊より旅行会社の皆様に紹介し、ご意見を頂いています。今回はプランを企画した3グループのリーダーより、それぞれの企画に対する思いを語って頂きました！（2面にて）

▶ ふるさと応援塾 1年間の歩み

実施事項	日程	内容
第1回勉強会	2011年 11月12日	『地域活性化概論』 講師：(株)KBS創研 小泉 寿宏
第2回勉強会	12月17日	『観光ニーズの調査手法』 講師：(株)KBS創研 谷口 純平
第3回勉強会	2012年 2月6日	事例研究『兵庫県香美町の漁師料理』 講師：(株)KBS創研 小泉 寿宏
第4回勉強会	5月28日	ゲストスピーカー『香川県高松市の観光活性化の取り組み』 講師：塩江温泉ホテルセカンドステージ 藪内 由佳
第5回勉強会	6月18日	ツアー造成のポイント『秋冬の旅行キーワード』 講師：(株)KBS創研 小泉 寿宏
第6回勉強会	7月9日	情報発信『ホームページ、旅行会社研究』 講師：NPO法人ふるさと応援隊 竹腰 幸司
高松合宿	8月30日 ～31日	高松観光プランコンテストに向けた視察合宿を開催。高松市塩江温泉ホテルセカンドステージに宿泊、1泊2日の日程で高松市内のフィールドワークを実施。



▲第1回勉強会の様子。
毎回15名程の学生が参加した。



▲第4回勉強会ではゲストスピーカーとして、塩江温泉ホテルセカンドステージの藪内氏にお越し頂き、高松の観光活性化の事例についてお話し頂いた。



▲8月下旬に高松合宿を実施。1泊2日の行程で市内のフィールドワークを行った。



▲合宿2日目はフィールドワークの内容を踏まえて、企画中の旅行プランの発表会を行った。

▶ ふるさと応援塾 プラン

秋を楽しむ高松ツアーチーム



立命館大学
法学研究科
税法専攻2回生
中野辰洋



私達は高松の魅力的な建築物等を中心にプランを企画しました。

きっかけは、メンバーが瀬戸内国際芸術祭に関心があったことでした。その関心を高松市にまで広げ「市内にも魅力的な建築物があるのでは？」と思い調べた結果、「高松市にも魅力的な建築物があり、これらをプランに組み込めば高松の違った側面をアピールできる。」という考えに至りプランを企画し始めました。

プランを企画する際、私達は“目で楽しめる”を軸に考え、ターゲットもそれに準じた芸術が趣味な中高年、創作意欲旺盛な学生、建築や園芸に価値を見出す海外の方を想定してプランを練りました。その結果、海外でも有名な丹下健三氏が手がけた建築物、ミシュランで紹介された庭園をもつ栗林公園、モダンな建築の仏生山温泉といった“目で楽しめる”プランが出来上がりました。

このプランを基にフィールドワークを行い、見る人の好みの調整や建築物ごとの時間配分をどう工夫するかといった企画時には見えなかった課題に対し、お客の行動を想像しながら柔軟に対応できるようにプランの調整を行いました。芸術という人によって解釈の異なるものをツアーに組み込むことの難しさがよく分かり、参考になりました。

香川でおしゃべりグルメ旅チーム



立命館大学
経営学部
経営学科4回生
浅川達郎



今回このツアーは、ただ旅行ルートを提案するだけではなく、新たな習慣を提案しなかったことが根本にあります。時間もお金もある程度あり、一番旅行に積極的な40代～60代の女性がターゲットです。彼女らは、普段近所で井戸端会議をしたり、たまにお金をだして食事会をして主婦友達と交流しています。クレヨンしんちゃんの母友が私たちのイメージです。今回は井戸端会議、主婦会の延長線上に、ちょっぴり豪華なグルメ旅を提案しました。目的は、観光巡りや食事よりも主婦同士のおしゃべりです。普段ががんばっている主婦の方々に、「たまにはおしゃべり食事会を豪華に他の県の現地の郷土料理を食べながらしましょう」という思いが詰まっています。

実際にフィールドワークをして感じたのは、現地のターゲットと同世代のおばちゃんとお話することの重要性です。やはり、地元でしか知られていないすばらしい場所や食材は存在します。また、ターゲットの趣味思考を知るにはターゲットに話を聞くのが一番でした。そういった意味で、現地のおばちゃんたちが教えてくれた情報はとても価値のあるものでした。やはり、ツアーというものは消費者や地元の方の協力なしに卓状のみではいいものを作ることができないこと実感しました。

愛のキューピット～高松で過ごす青春物語～チーム



このツアーは、ある大阪のおばちゃんの恋愛話からインスピレーションを得て考えられました。屋島の箕山大明神で、そのおばちゃんに出会い、ここの神社が良縁で有名ということを知られました。今回訪れた目的は大学生の娘さんの良縁祈願であったが、おばちゃん自身もこの神社のおかげで現在の旦那さんと結ばれたと熱く語ってくれました。このおばちゃんに出会う前は、源平の歴史をテーマにしたツアーを考えていましたが、



京都女子大学
現代社会学部
現代社会学科
4回生
重久瑛理

自分たちが抱いていたイメージと、現実とのギャップを感じて行き詰まっていました。しかし、彼女のエピソードを聞くことで、ガイドマップには載らない、箕山大明神の魅力を発見し、こんな素敵な場所をもっとたくさんの人に訪れてほしい。そして、幸せになってほしいという気持ちをこめてつくられたツアーです。

ツアーのターゲットは新婚から、熟年カップルまで様々なカップルです。このカップルが旦那さんから奥さん、奥さんから旦那さんへプレゼントという場面にも使ってほしいと考えています。また、様々な年代が交流することも大きな目的となっています。

企画を通じて感じたのは、やはり想像の中で立てる旅行と実際現地に行ってみて考える旅行とではアイデアの幅が大きく違ってくることで、そして何より現地に来ているの人の言葉がとても大きな魅力があり重みがあるということです。わたしたちの班は現地にいらっしやっていたおばちゃんに出会わなければツアーが成り立たなかったといっても過言ではないので、身に染みて実感しました。

いかがでしたでしょうか？ ホームページでは3つの旅行プランの詳細やモデルコースなどもご覧いただけます。また、どのプランがもっとも魅力的か投票を受け付けておりますので、ぜひ一度ホームページをご覧ください、投票・感想をお願い致します！

高松観光プランコンテスト

検索

または右記のURLまで！ <http://furusato-ouen.com/jyuku/2012/>

編集
後記

学生向け観光ビジネスセミナーふるさと応援塾の学生が、1年間の学習の集大成として、香川県高松市を舞台に旅行プランを企画しました。みなさんはどの企画に魅力を感じますか。現在、ホームページでは人気投票を受付中です。学生さん達が、実際に高松のまちを歩いて感じた魅力、その内容を具体化したプラン。この秋、訪れてみたい高松です。(増田)

株式会社 KBS 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL:06-6423-5561/ FAX:06-6423-5571
東日本営業部：〒103-8246 東京都中央区日本橋2-6-5 日本橋2丁目ビル6階 TEL:03-3246-1314/ FAX:047-426-0913
＜関連会社＞ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/ FAX:06-4707-3855
特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）
〒604-0044 京都市中京区小川通押小路下下古城町376-205 TEL:075-708-5741/FAX:075-708-5741

●代表取締役：小泉寿宏
●事業内容：観光・サービス業の経営支援
●設立：2004年4月
●地域オフィス：関西・東京